

## 4-1-1-2 思春期診療科

### 1. 概要、特色

#### 1.1 概要

成育医療センター開設に伴い、従来の縦割り診療体系ではなく全人的な診療を目指して総合診療部が設置された。思春期診療科は小児期診療科、成人期診療科と共に総合診療部に属し、思春期年齢を中心におこる疾患や生活上の問題などに取り組む診療科と位置づけられている。

#### 1.2 特色

思春期は小児から成人への重要な橋渡しの時期であり、心身両面において成長と共に成熟が始まり、完成する時期である。思春期の定義については議論があるが、一般に二次性徴が進んでくる10歳から成長と成熟が完了する20歳までと言われている。思春期診療科ではこの前後プラス2年程度の幅の年齢層を診療対象として診療を行ってきた。また、この時期は自我自立の葛藤など、精神的にも支持が必要な時であるために、診療は思春期心理科とのチーム医療が必須である。また、二次性徴の問題から婦人科・泌尿器科との連携も適宜行っている。このように、当センターの基本理念の一つである、患者に最適なチーム医療の提供を心がけて診療を行っている。

### 2. 診療活動、研究活動

#### 2.1 診療活動

思春期診療科のスタッフは医長1人、医員1人(H16年9月以降は医員1人)で、総合診療部レジデント数名とともに病棟および外来診療を行っている。一部レジデントが病棟での臨床研修を経た後、外来診療にも参加することもある。思春期診療科の対象疾患は、思春期特有の疾患(自律神経機能障害などによる不定愁訴や慢性頭痛・腹痛に伴う不登校、摂食障害など)が主であるが、性成熟の異常(思春期早発症、思春期遅発症)、月経異常、成長障害を主訴に受診する例も多い。

##### 2.1.1 外来診療(思春期外来)

思春期診療科として、思春期外来を毎月曜午後に行っている。この外来は思春期年齢を中心に、主に性成熟異常、摂食障害、慢性疾患の成長障害などを扱っているが、心の問題の身体化を連携して扱うために思春期心理科との合同外来である。また、思春期年齢の婦人科疾患患者がスムーズに婦人科を受診する窓口にもなっている。最近では摂食障害患者の受診が増加し、軽症例から緊急入院を必要とする重症例まで数多くの受診患者がある。これらの患者の受診希望に応えるため外来日数を増加させたが、それでも一人一人の診療時間が短縮されるか、時間外の診療を余儀なくされているのが実情である。

##### 2.1.2 入院診療

入院病棟は10階西病棟が思春期病棟として設定されており、看護師は精神的問題も扱えるよう研修を行っているが、入院患者の増大に伴い、昨年度より10階東病棟および11階東病棟も思春期・キャリアオーバー患者が多く入院するようになった。入院患者の疾患は多岐にわたり、専門診療科入院患者にも積極的に関わっている。一般急性疾患、専門科にてフォロー中の患者の急性感染症(特に脳性麻痺等による長期臥床患者の急性病変)、外科系疾患の内科管理、いわゆる「専門診療のはざま」或いは他科にまたがるため主科の明らかでない慢性疾患、などが挙げられる。この他、コンスタントに入院の約半数から1/4を占めるのは摂食障害、めまいや微熱の持続などの不定愁訴等である。

心理面での治療が必要な患者については、月2回10階西病棟看護師・こころの診療部医師とともに心理カンファランスを行い、対応と治療方針を検討している。

また、思春期診療科として「神経性食欲不振症診療手順」、思春期心理科と10階西病棟看護師と共同して「摂食障害入院チーム治療の手引き」をそれぞれ作成し、診療に活用している。

## **2.2 研究活動**

思春期診療科では昨年度に引き続き以下のテーマで臨床研究・基礎的研究を行っている。

### **2.2.1 神経性食欲不振症**

低年齢神経性食欲不振症(AN)の発育環境、成長障害と生化学・内分泌代謝異常の検討：低年齢 AN の成長障害と身体予後を成長曲線、生化学・内分泌データから検討し、早期発見・早期治療、さらに予防を考える。

### **3.1 思春期勉強会**

毎月第 1、3、5 木曜日 18 時より思春期勉強会を開催している。テーマは以下の通り、院内外から講師を招いたり、思春期診療科・思春期心理科のスタッフ、思春期診療科レジデントが講義や診療のまとめの報告を行っている。

主なテーマ： 摂食障害、肥満、頭痛、月経異常、思春期の性感染症、慢性疲労症候群、ざそう、夜尿症、性成熟異常、思春期の心の発達

### **3.2 こころと体の勉強会**

政策医療大学院、虎ノ門病院、国際医療センター、聖路加病院、東京医大病院、関東中央病院、慶応大学病院の各思春期診療を行っている医師 10 名ほどが集まり、年 2 回の症例検討を主とした勉強会を開始した。平成 16 年度には 2 回の会合が催され、各施設の治療困難例などを持ち寄り検討したり、テーマに従った研究報告がなされた。過去 2 回のテーマは摂食障害、思春期のうつ。当院からはレジデントも参加し、積極的にディスカッションに加わった。

### **3.3 講演会**

思春期勉強会の一環として、Grand Round において慶応大学精神科から Dr. Pike に eating disorders についてご講演をいただいた。